

授業科目 「教育実践研究Ⅱ」
 担当教官 平松 義樹
 科目区分 教育実践研究
 受講生 21名

1 授業の目的と概要

本講座の目的は、最近の学校教育をめぐる諸問題、特に学力論や授業論について実践的に研究していくことにある。そして、教師としての使命感や実践的指導力を培うとともに、人間としての生き方について自ら考える力を育てることをねらいとしている。

2 学生による授業評価

本講座では、毎時間、授業感想カードに以下のような観点で授業評価をしている。

今年度の結果は、下記のとおりである。5(とてもよい)・・・1(よくない)

* [教師の説明の仕方]	5 (100%)	4 (0%)	3 (0%)	2 (0%)	1 (0%)
* [内容や教材の工夫]	5 (100%)	4 (0%)	3 (0%)	2 (0%)	1 (0%)
* [構成や展開の工夫]	5 (100%)	4 (0%)	3 (0%)	2 (0%)	1 (0%)
* [知識・概念の獲得]	5 (96%)	4 (4%)	3 (0%)	2 (0%)	1 (0%)
* [授業の充実満足度]	5 (100%)	4 (4%)	3 (0%)	2 (0%)	1 (0%)
* [授業への取組み方]	5 (96%)	4 (0%)	3 (4%)	2 (0%)	1 (0%)

今年度で開講されなく授業である。授業時間外に自ら課題を設定し、探究型の自主学習をさせ、その成果をプレゼンでまとめさせたが、これは学生の自己学習能力の向上につながった。プレゼンの内容・程度ともに過去最高の出来栄であった。最後の発表会では、相互に高まりあうことができた。

3 学生の自由記述による授業評価

- 平松先生の話をもとに、1年生のときの「実践入門」で聞いてから、先生の経験や考え方に興味を持ち、本講義を受けました。先生の授業を受けて、将来私が先生になったとき、自分がしたいことがたくさん発見できました。教育実習前にこの授業を受けていたらもっと充実した教育実習ができていたと思います。これから教授の勉強が本格化するので、この楽しみな気持ちを忘れずに頑張っていきたいです。ありがとうございました。
- どの回も実践的な内容で、理論だけでなく、

実際の事例などを含めた実践的な内容で、とても分かりやすかったです。今思えば、どの回も、先生が授業中説明していただいた左脳→右脳→左脳の構成だった気がします。先生の隠された授業テクニックに驚かされました。小中の時の先生の意図を知って、もう一度授業を見たらおもしろいだろうなと思いました。子どもたちが主体的に学べる授業構成と人間性をつけていきたいです。特に、『平成坊っちゃん物語』は最高です。こんなに心が動かされたことはありませんでした。